

千葉大学医学部附属病院で病理診断を受けた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025 年 4 月 30 日

病理診断科

病理診断科では、Birt-Hogg-Dubé（以下、BHD）症候群関連肺^{はいのうほう}嚢胞における pulmonary interstitial glycogenosis 細胞に関する研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2002年4月1日～2024年 4 月 30 日の間に肺の手術検体について、BHD 関連肺^{はいのうほう}嚢胞、ブラ／ブレブ、肺ランゲルハンス細胞組織球症、アミロイドーシス、リンパ脈管（みやつかん）筋腫症（きんしゅしょう）、胸腔子宮内膜症の病理診断を受けた方

1. 研究課題名

「Birt-Hogg-Dubé 症候群関連肺^{はいのうほう}嚢胞における pulmonary interstitial glycogenosis の病理組織学的検討」

2. 研究期間

承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

Birt-Hogg-Dubé 症候群は、*folliculin* (*FLCN*) 遺伝子の異常によって引き起こされる皮膚良性腫瘍、肺^{はいのうほう}嚢胞、腎腫瘍を特徴とする遺伝性疾患です。肺^{はいのうほう}嚢胞は多くの BHD 患者に認められ、気胸の原因となりますが、BHD 関連肺^{はいのうほう}嚢胞の性質や発生するメカニズムについては不明な点が多く存在します。

一方、pulmonary interstitial glycogenosis（以下、PIG）は、グリコーゲンを含んだ未熟な細胞

が肺胞に存在することで特徴付けられる稀な新生児の肺疾患として 2002 年に報告されました。これまでの報告から、PIG が肺の形成異常に関連している可能性が示唆されていますが、BHD 関連肺嚢胞^{はいのうほう}と PIG の関連については、十分に検討されていません。

本研究では、BHD 関連肺嚢胞^{はいのうほう}と PIG の関連について、BHD 関連肺嚢胞^{はいのうほう}やその他の肺嚢胞^{はいのうほう}の病理標本を詳細に検討します。これにより、BHD 関連肺嚢胞^{はいのうほう}が生じるメカニズム解明や診断精度の向上につながることを期待されます。

本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究 ID に置き換えた試料・情報は千葉大学大学院医学研究院診断病理学研究室及び横須賀共済病院、北海道大学病院に提供され、解析が行われます。氏名等と研究 ID との対応表は外部には提供されません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

手術時に採取された肺組織検体から作製された病理標本

診療録に記載されている年齢、性別、生活歴（飲酒・喫煙など）、職業歴、既往歴、併用薬、家族歴、血液検査、遺伝子検査結果など

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

研究代表機関名	研究代表者
千葉大学医学部附属病院	太田 昌幸
共同研究機関名	研究責任者
横須賀共済病院	中谷 行雄
市立札幌病院	古屋 充子
うわまち病院	飯田 真岐
まつもと医療センター	板垣 裕子
横浜南共済病院	河野 尚美
関西医科大学附属病院	齊藤朋人
札幌厚生病院	市原 真
土浦協同病院	明石巧
東海大学	近藤裕介
東京慈恵会医科大学附属病院	鵜飼 なつこ
日本大学	増田しのぶ

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた試料・情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学大学院医学研究院診断病理学の研究室、および各研究機関において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に試料・情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

病理診断科 助教 太田 昌幸

043（222）7171 内線 6401

〇〇病院で病理診断を受けた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025 年〇月〇〇日

〇〇科

病理診断科では、Birt-Hogg-Dubé（以下、BHD）症候群関連肺^{はいのうほう}嚢胞における pulmonary interstitial glycogenosis 細胞に関する研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2002年4月1日～2024年4月30日の間に肺の手術検体について BHD 関連肺^{はいのうほう}嚢胞の病理診断を受けた方

・BHD 関連肺^{はいのうほう}嚢胞

1. 研究課題名

「Birt-Hogg-Dubé 症候群関連肺^{はいのうほう}嚢胞における pulmonary interstitial glycogenosis の病理組織学的検討」

2. 研究期間

承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

Birt-Hogg-Dubé 症候群は、*folliculin* (*FLCN*) 遺伝子の異常によって引き起こされる皮膚良性腫瘍、肺^{はいのうほう}嚢胞、腎腫瘍を特徴とする遺伝性疾患です。肺^{はいのうほう}嚢胞は多くの BHD 患者に認められ、気胸の原因となりますが、BHD 関連肺^{はいのうほう}嚢胞の性質や発生するメカニズムについては不明な点が多く存在します。

一方、pulmonary interstitial glycogenosis（以下、PIG）は、グリコーゲンを含んだ未熟な細胞が肺胞に存在することで特徴付けられる稀な新生児の肺疾患として 2002 年に報告されまし

た。これまでの報告から、PIG が肺の形成異常に関連している可能性が示唆されていますが、BHD 関連肺嚢胞はいのうほうと PIG の関連については、十分に検討されていません。

本研究では、BHD 関連肺嚢胞はいのうほうと PIG の関連について、BHD 関連肺嚢胞はいのうほうやその他の肺嚢胞はいのうほうの病理標本を詳細に検討します。これにより、BHD 関連肺嚢胞はいのうほうが生じるメカニズム解明や診断精度の向上につながることを期待されます。

本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究 ID に置き換えた試料・情報は千葉大学大学院医学研究院診断病理学研究室及び横須賀共済病院、北海道大学病院に提供され解析が行われます。氏名等と研究 ID との対応表は外部には提供されません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

手術時に採取された肺組織検体から作製された病理標本
診療録に記載されている年齢、性別、生活歴(飲酒・喫煙など)、職業歴、既往歴、併用薬、家族歴、血液検査、遺伝子検査結果など

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

研究代表機関名	研究代表者
千葉大学医学部附属病院	太田 昌幸
共同研究機関名	研究責任者
横須賀共済病院	中谷 行雄
市立札幌病院	古屋 充子
うわまち病院	飯田 真岐
まつもと医療センター	板垣 裕子
横浜南共済病院	河野 尚美
関西医科大学附属病院	齊藤朋人
札幌厚生病院	市原 真
土浦協同病院	明石巧
東海大学	近藤裕介
東京慈恵会医科大学附属病院	鵜飼 なつこ
日本大学	増田しのぶ

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた試料・情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どな

たのものがわからないように加工して、千葉大学大学院医学研究院診断病理学の研究室、および各研究機関において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。

7. 研究についての相談窓口について

研究に試料・情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒〇〇〇-〇〇〇〇

〇〇県〇〇市〇-〇-〇

〇〇病院

〇〇科 〇〇 〇〇

TEL : 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇